農福連携とは？

農業と福祉が連携し、**障害者の農業分野での活躍**を通じて、**農業経営の発展**とともに障害者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組

（「農福連携等推進ビジョン（2024改訂版）」より）

農業の課題

- **農業労働力の確保**
  基幹的農業従事者は20年間で４割減少（全国）
- **農業経営の成長**
  農業者以外の違う角度からの視野について

ノウフク

福祉の課題

- **障がい者の働く場の確保**
  直接雇用や施設外労働等
  我が国の障がい者約 1,160 万人のうち 就労者は約 114 万人
  （※ノウフクＪＡＳパンフレットより）
- **工賃（賃金）の引き上げ**
  就労継続支援Ｂ型事業所の利用者の平均工賃（賃金）
  月額 26,675円（令和5年度 北海道）

農福連携に取り組むメリット

農業サイドのメリット

- **農業人材（労働力）の確保**
- **農業経営の成長**

「福祉の視点」を取り入れることで、**「経営の成長」**につながる

- **◆ 作業改善**：生産工程や作業方法の見直し（作業分解、作業単純化、マニュアル化、わかりやすい指導など）
- **◆ 環境改善**：トイレ、休憩所などの設置
- **◆ 労働安全の確保**：道具の見直し、整理整頓など
- **◆ 待遇改善**：勤務条件の向上や明確化、個人の要望に応える柔軟な勤務体系（短時間勤務、曜日指定など）

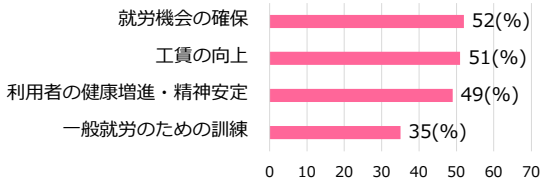
誰もが働きやすい職場になる ／ **生産性が向上する**

→ **農業経営の成長**

福祉サイドのメリット

- **障がい者の働く機会の確保・生きがいづくり**
- **賃金・工賃の向上**
- **ストレスの軽減・リハビリテーション効果**
- **一般就労に向けての訓練**

農福連携の取組による効果（福祉事業所）



北海道管区行政評価局「農福連携の推進に関する実態調査」(R4.2)より